

理事会だより ～第6回～

★「学会と企業の連携強化をめざして」

院生時代にプラズマ・核融合学会に入り、当時2回/年開催されていた年会で5年間全国色々回りました。卒業後は、モノ作りを希望してメーカーの核融合関連部署に就職し、当たり前のように正会員に移行したものの、私にとって学会は外から眺めているだけの存在でした。しかし、核融合エネルギー連合講演会で当時学会会長であった恩師の吉田善章先生にお会いし、「是非企業が学会に参加するメリットを創出する施策を行ってほしい」と理事のお声がけをいただいたことから、2019年より理事を務めさせていただきます、早いもので今年度が最終任期になります。

最初の2年間は、右も左もわからぬまま財務委員長を仰せつかり、森雅博会長と事務局の皆様のご協力の下、予算計画とその実行管理に携わらせていただきました。運良くこの2年間は黒字でしたが、これは新型コロナショックで種々のイベントが中止になったことによる支出減が理由であり、学会の実態としては、徐々に収入が減って活動が縮小している状況です。今の学会には、①学生会員卒業後の正会員への移行確保、②企業賛助会員・年会企業展示数の増加、による活性化が求められています。

無事財務委員長を終え、任期の残り2年間は隠居生活かと思いましたが、竹入康彦会長肝入りで企業連携活動強化小委員会が立ち上がり、当方が理事として期待された活動の機会を与えていただきました。この活動により生まれたのが、今年の年会から始まる、“Plasma Festa 2022”です。ここでは、従来の企業展示を発展させ、企業と学生・研究者の皆様との交流の場を作り、学会活動の活性化を図ることをめざします。企業には、学生・若手に向けたキャリアパス紹介を準備いただき、予稿集や年会昼休みのセミナーでPR、更に年会2日目の夕方には、企業と学生・研究者との交流会のセッションを設けます。

この会の成功は皆様の御参加にかかっています。是非皆様、3年ぶりとなる対面の年会に足を運んでいただき、企業の方も、学生・研究者の方も積極的に“Plasma Festa 2022”に参加頂いて、年会を盛り上げようではありませんか！富山の会場でお待ちしております。

(株)日立製作所 木戸修一